

支えあい通信

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくために、今できていること、これから必要なことは何かを地域の方のご意見をもとに、体制づくりをすすめています。

今回は、おでかけ広場(通いの場)と買物支援の取り組みとちょこボラサービスの紹介です。

おでかけ広場とは

高齢者のみなさんをはじめ、地域のみなさんが気軽に立ち寄れる住民主体の交流の場です。住みなれた地域で健やかに生きがいをもって生活できるようにとの願いから立ち上げられました。一宮市に認定されると表示サイン(懸垂幕)が渡され、パンフレットやウェブサイトで広く情報提供されます。

今回は、木曾川老人いこいの家で毎週水曜日午前10時30分~11時30分に開催されている昭和クラブさんをご紹介します。



昭和の懐かしい道具も展示しています



昭和の懐かしい音楽を聴きながら、昔を思い出し、脳もイキイキ♪



通いの場の情報が満載!

問合せ：市役所高年福祉課 (Tel.28-9151)

買物支援 (西成連区張湊町内)

今年度4月より西成連区では、初めて町内会と社会福祉法人が協働して買物支援を開始しました。

初回は、14人の参加があり、社会福祉法人たんぽぽ福祉会地域密着型特別養護老人ホームたんぽぽ鶉の里の車輛で、近隣のスーパーへ買物に出かけました。今後も定期的開催予定です。(毎週月曜午前)



ちょこボラサービスとは

高齢者の日常生活の中で、ちょこっとしたお困りごとを住民同士で助け合うサービスで、平成29年7月より実施し約2年たちました。登録者は利用会員200名、協力会員は100名を超えています。依頼内容は、草取りや庭木の枝払い、窓拭きや電球のかさ掃除などです。脚立に上っての作業や腰を屈めて行う作業ができなくなったため、利用される方が多いです。その他にも、服の裾上げや家具の修理などもできる範囲で行っています。利用料は30分以内300円となっており、1回の作業が1時間30分程度で終わるちょこっとしたお手伝いを行っています。

このサービス実施にあたり、欠かせないのが協力会員の存在です。今までのキャリアを活かしたり、自分のできる範囲で地域のために活動したいと、みなさんそれぞれの想いをもって活動されています。協力会員として活躍してみたいと思われた方、ぜひ社会福祉協議会本部(Tel.85-7024)までご連絡ください。



粗大ゴミの搬出



窓拭き

